



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより
8・9月号
令和5年8月28日(月)

今年の夏は どんな夏？

校長 倉本 恵

私が本校に着任した2021年の夏は、1年延期となった東京オリンピックが開催され華やかなムードに包まれたものの、その後緊急事態宣言期間となり、分散登校での夏休み明けでした。あの時を思うと、気温の高さには閉口したものの、気分が高まる日々が多かった今年の夏でした。(私は運動するのはとても苦手ですが、見ることや応援することは大好きなので)

皆様にとっての今年のいちばんの「夏」の思い出は、どんなことだったのでしょうか。

昨年11月に母が他界した我が家の今年の夏の一大行事は、「新盆」でした。なんとなく続けてきて、時には正直なところ面倒だと思ったこともあるお盆の準備やお墓参り。母の死をきっかけに、その由来を知って引き継ぐべきものと、由来を知った上で、今にあったスタイルに変えていった方がよいものとの違いを自分事として考える夏となりました。

昔は8月いっぱい夏休みでしたが、エアコン設置や授業時数確保等で、その期間が短くなりました。でも、それが決まった当時、まさか気温の高い日がこんなに長く続くことになるとは・・・。

早起きをして午前中の涼いうちに、日頃の復習と予習、家族の一員として自分のできることに取り組み、やることが終わったら午後は遊ぶ！という過去の話は通用しなくなった現状。夏休みの過ごし方のスタイルは変わっても、子どもたちには「やってみた！」「がんばった！」「できた！」「うれしかった！」という夏休みならではの手ごたえがあったことを願わずにはられません。

この夏休み、私たち職員は様々な研修を全員や個人で行いました。その中で私が印象深かった研修は、「今はまさに教育の転換期。子ども自身が自分に合った学習の内容や方法を選択することのできる環境を作っていくことが大切」という内容のものでした。

本校では今年度初めての取組として4年生以上はタブレット端末を持ち帰り、冊子ではなく配信された夏休みの宿題に取り組み、という方法を導入しました。タブレットを使うのと、紙に絵や図を書くのと、どちらが適しているか子ども自身が選ぶことを考えるきっかけになってくれたら、と期待しています。また情報モラルも、大人が一方向的に教え込むという方向から、家庭での利活用も含め、子どもたち自身が気付いた課題も踏まえ、必要となる知識や考え方を身に付け、内容を吟味して判断できる力を育成するという、方向になっています。今後に向けてご家庭との連携を図りながら、進めていきたいと思っています。

さて、今週末の9月1日は「防災の日(1960年制定)」。その由来は100年前の「関東大震災」や1959年の「伊勢湾台風」で大きな被害を受けたことにあります。学校では毎年9月1日に総合防災訓練を実施しています。コロナ禍や気温の高さの影響から、訓練内容の見直しが必要になっていますが、語り継がれる機会が少なくなっているからこそ、この訓練は続けていく必要があると、私は感じています。今年に関東大震災から100年ということで、報道もいつもより盛んになっています。ぜひご家庭でも話題にし、自分の力で身を守る方法を選ぶ力を高めることに繋げていただけると幸いです。

保護者の皆様へ

- まだまだ暑い日が続きます。熱中症予防のため、登下校時に私語は控えてマスクを外すよう、ご家庭でも声掛けをお願いします。
- 欠席・遅刻連絡は、原則として連絡帳に記入し、本校在学児童に依頼してください。依頼が難しい場合は、8:25頃までに学校へ電話を入れて、欠席遅刻理由を伝えてください。

地域の皆様へ

8月28日(月)から9月1日(金)は集団登校期間です。PTA 校外委員さんが中心となり、班長児童を先頭に整列しての登校を実施します。9月4日(月)から8日(金)までは、保護者の方々や職員による子どもたちの登校見守り活動を行い、夏休み明けの登校の安全を支えます。